

愛知県環境教育等推進協議会ワーキンググループ意見への対応について

(1) 第1回(7月4日)開催

番号	意見	対応案
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業、住民、自然が共生できる社会をつくることのできる環境教育が必要である」ことを明示していただきたい。 ・愛知はものづくり県であるが、農業や漁業ともつながっており、行動計画には、そうしたことも考慮すべきである。 ・愛知県では愛知万博やCOP10が開催され、環境に対する県民の期待感もある中、「愛知県らしさ」をどうまとめていくかが大切である。 ・愛知にも関西に負けないくらいの歴史があるので、地元の歴史、プライドが持てるものと自然を調和していけると良い。 ・愛知県は、奥山、里山、湿原、干潟といった自然に恵まれた中、すなわち発展できるだけの資源があったので、工業や農業といった産業が発展してきた。それに歴史、文化を加えていけば愛知らしさが出るのではないか。 	<p>行動計画(案) P2、P8 計画の目的等～目指す愛知の姿と求められる人間像～</p> <p><愛知らしさの活用>で記載</p>
②	<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野はとても幅広く、どこに的を絞るか難しいが、地域を動かすには学校を上手に使うのが効果的である。 ・理科や社会の担当でない教師が環境学習を実施するのは大変なので、企業から講師を派遣していただくとありがたい。地域と企業が連携するためのシステムがあると良い。 ・教師一人で環境教育を実施するのは教材や費用などの面で難しいため、企業やNPO等の協力が必要である。また、コーディネーターやファシリテーターをうまく組み込むのが大切である。 	<p>行動計画(案) P23 他 学校が企業等の主体と連携・協働して環境教育等を実施できる施策を記載</p> <p><県の推進する主な施策> 「環境学習のコーディネーターの設置等」</p>
③	<ul style="list-style-type: none"> ・環境プログラムや環境学習の講師を検索できるシステムを充実し、このシステムの学校等への周知を図られたい。 	<p>行動計画(案) P23 <県の推進する主な施策> 「情報提供機能の充実」で記載</p>

④	・「行動計画」の全体像を県民に伝えるには体系図で示すのが良い。	全体図を作成
⑤	・各企業が学校等と連携して環境教育・環境学習を実施するようなを記載していただきたい。	行動計画（案）P12、P22～P24 事業者が持つ専門性を活かした環境学習の促進を記載 各主体が連携・協働して環境学習を推進する旨を記載
⑥	・学校の授業では食育、英語、道徳といった大事なことが多すぎるため、子ども達にやらせることを精選すべきだと思う。 学校で実施していることも尊重しながら、環境教育等を実施すべきである。	行動計画（案）P17～P21、P23 学校等における環境教育の推進で、学校等の役割、期待される主な取組、幼稚園から大学において、県の推進する主な施策について記載したほか、学校等が企業等の主体と連携・協働して環境教育等を実施できる施策を明示し、学校等の負担を軽減できるよう記載
⑦	・資料3(2)「行動計画の骨子・構成(案)」5(2)②③について、環境は多岐にわたるので、農林水産部局や土木部局との連携ができるが良い。	行動計画（案）P22～P23 行政内部の連携強化を記載
⑧	・環境教育は幼稚園から小学3年生までが一番大事な時期である。幼稚園の指導要綱や保育所の指導指針に環境教育についての記載があり、この時期に自然体験を原体験として行わないといけないとある。	行動計画（案）P18 他 県の推進する主な施策で、幼稚園等・小学校低学年の欄に自然体験の重要性を記載

(2) 第2回(8月6日)開催

番号	意見	対応案
①	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体を連携させるシステムを構築していただきたい。 学校が外部講師を利用して環境教育を実施するにあたり、信頼できる外部講師を紹介していただきたい。 	行動計画(案) P 2 3 情報機能の充実を推進し、多様な主体間の連携を図り、環境学習を推進する旨を記載
②	<ul style="list-style-type: none"> 学校にとってわかりやすい形で行動計画を策定していただきたい。 	行動計画(案) P 1 7～P 2 1 学校等の役割、記載される主な取組、幼稚園等から大学までの県の推進する主な施策を記載し、わかりやすい形で提示
③	<ul style="list-style-type: none"> 学校が既に実施している活動にE S Dの視点を導入するような行動計画にいただきたい。 	行動計画(案) P 7～8 参考資料1、2 持続可能な社会に必要な構成概念や身につけるべき能力・態度といったE S Dの視点を導入することにより、学習や活動の質を高めることができる旨を記載
④	<ul style="list-style-type: none"> 学校の取組を発達段階ごとに施策を記載していただきたい。 	行動計画(案) P 1 7～P 2 1 学校等の役割、記載される主な取組、幼稚園等・小学校低学年、小学校高学年・中学校、高等学校、大学別といった発達段階ごとの県の推進する主な施策を記載
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全活動につながるような記載にいただきたい。 	行動計画(案) P 6 自発的に行動に移せる機会を増やすため、社会と学校等それぞれの主体に対して「体験学習の充実」を推進する旨を記載
⑥	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標化できるものは、数値目標を設定し、できないものは定性評価としたら良い。 	行動計画(案) P 2 5 数値目標化できるものは、数値目標を設定し、できないものは定性評価とする。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> 市町村との連携についても記載していただきたい。 	行動計画(案) P 2 2 行政間の連携強化を記載
⑧	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育を学校で浸透させるには、教師も環境学習を体験できるような機会があると良い。 	行動計画(案) P 2 3 情報発信機能を充実させ、教師が環境学習を体験できる講座などを紹介したい
⑨	<ul style="list-style-type: none"> 職場等における環境研修を充実していただきたい。 	行動計画(案) P 1 2 社員に対する研修等の促進を記載

(3) 第3回(11月20日)開催

番号	意見	対応案
①	・「あいち協働ルールブック2004」の説明が必要	行動計画(案)P22 「あいち協働ルールブック2004」の説明を追記
②	・環境教育を扱っている教科は、理科、社会以外にも家庭科があるので、その旨を記載していただきたい。	行動計画(案)P17 環境教育を扱っている教科に家庭科を記載